

高知工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	保健・体育IV	
科目基礎情報							
科目番号	1451			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	総合科学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	参考書：「COLOR WIDE SPORTS」（大修館書店） 選択種目別指導書・学習記録表（高知高専体育科作成資料）						
担当教員	市村 梨乃,澤本 章一,新田 忠彦						
到達目標							
【到達目標】 技術，練習方法，ルール審判方法について種目別の学習資料を参考に学習し，運動の特性を理解させ，各自が課題を持って練習計画を立て実践することにより，自己学習能力を高める。学習記録用紙を作成し，毎時間の実践と課題を記録する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	遅刻、欠席、見学をすることなく、全体の中心となり積極的に授業に取り組む。			遅刻、欠席、見学をすることなく、授業に取り組む。		遅刻、欠席、見学が多く、授業に参加をしない。	
評価項目2	技術が標準的なレベルに到達し、ゲームに活かすことができ、仲間に教える事ができる。			技術が標準的なレベルに到達し、ゲームに活かすことができる。		技術が標準的なレベルに到達できるように練習に取り組まない。	
評価項目3	グループ活動時に決められた練習、課題に取り組み、プラス仲間に指示を出したりアイデアを出すことができる。			グループ活動時に、決められた練習、課題に取り組む事ができる。		グループ活動時に参加をしない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	卓球、バドミントン、テニス、ソフトテニスから前期1種目、後期1種目選択する。生涯にわたってスポーツを計画的・継続的に楽しみ，スポーツを生活の重要な内容として取り入れていくために，個人の興味・関心や能力・適性などに基づき，種目を選択する。自主的な運動の実践により，健康でスポーツを楽しむことの出来る能力、仲間と協力しリーダー力を身に付けさせる。						
授業の進め方・方法	各種目、基本的な技術や練習方法を伝え、個々もしくはグループで仲間と協力しながら練習に取り組み、ゲームを展開していく。ルールなどについてはプリントなどを配布したり、DVDを見せることにより、理解できるようにさせる。						
注意点	教材毎にスキルテスト及び記録測定を実施し，評価する。学習記録表への記載内容も，評価に入れる。実技の成績を50%，平素の学習状況等を50%の割合で総合的に評価する。学期毎の評価は中間と期末の各期間の評価の平均，学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション[1]		授業の流れ、要点を理解できる。		
		2週	選択種目A[2-5]		参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。		
		3週	選択種目A[2-5]		参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。		
		4週	選択種目A[2-5]		参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。		
		5週	選択種目A[2-5]		参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。		
		6週	スポーツテスト（8種目）[6]		自己の体力水準を把握でき、仲間と協力して測定ができる。		
		7週	選択種目A[7-11]		自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。		
		8週	選択種目A[7-11]		自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。		
	2ndQ	9週	選択種目A[7-11]		自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。		
		10週	選択種目A[7-11]		自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。		
		11週	選択種目A[7-11]		自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。		
		12週	水泳（3泳法の練習）[12-13]		クロール・・・水面で肘を高く上げることができ、呼吸をうまくすることができる。 平泳ぎ・・・キックと手のかきのリズムをつかむことができる。 背泳ぎ・・・小指から入水することができ、規則正しい呼吸ができる。		
		13週	水泳（3泳法の練習）[12-13]		クロール・・・水面で肘を高く上げることができ、呼吸をうまくすることができる。 平泳ぎ・・・キックと手のかきのリズムをつかむことができる。伸びる事ができる。 背泳ぎ・・・小指から入水することができ、規則正しい呼吸ができる。		

後期		14週	水泳（タイム測定）[14-15]	正しいフォームで、スピードのある泳ぎができる。
		15週	水泳（タイム測定）（遠泳）[14-15]	仲間と励まし合いながら最後まで諦めず泳ぎ切ることができる。
		16週		
	3rdQ	1週	選択種目B[16-24]	参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。
		2週	選択種目B[16-24]	参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。
		3週	選択種目B[16-24]	参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。
		4週	選択種目B[16-24]	参考書、資料等で練習方法やポイントをつかみ、仲間と話し合いながら練習、ゲームができる。授業の終わりには、自己の活動を振り返り、気がついたこと、今後の課題などをまとめることができる。
		5週	選択種目B[16-24]	自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。
		6週	選択種目B[16-24]	自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。
		7週	選択種目B[16-24]	自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。
		8週	選択種目B[16-24]	自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。
	4thQ	9週	選択種目B[16-24]	自ら率先し、練習方法を伝えたり、ゲームの流れや段取りなどを組み立てることができる。
		10週	サッカー・バスケット（集団としての技術練習とゲーム）[25]	サッカー・・・バス相手の動きを見てボールを蹴ることができる。仲間と協力しアイデアを出しながら練習ができる。 バスケット・・・手元を見ずドリブルができる。バスからのセットシュート・レイアップシュートができる。仲間と協力し、アイデアを出しながら練習ができる。
		11週	サッカー・バスケットボール（集団としての技術練習とゲーム）[26]	サッカー・・・バス相手の動きを見てボールを蹴ることができる。仲間と協力しアイデアを出しながら練習ができる。 バスケット・・・手元を見ずドリブルができる。バスからのセットシュート・レイアップシュートができる。仲間と協力し、アイデアを出しながら練習ができる。
		12週	サッカー・バスケットゲーム（リーグ戦）[27-28]	サッカー、バスケット・・・バスからシュートへの連携プレーができる。指示を出すことができる。
		13週	サッカー・バスケットゲーム（リーグ戦）[27-28] 長距離走	サッカー、バスケット・・・集団技能を用いてゲームができる。 長距離走・・・自分のペースで走りきることができる。
		14週	サッカー・バスケットボールゲーム（リーグ戦）[29-30] ※[25-30];天候の状況によって、サッカーとバスケットを実施する。 長距離走	サッカー、バスケット・・・集団技能を用いてゲームができる。 長距離走・・・定められた距離を走りきることができる。
		15週	サッカー・バスケットボールゲーム（リーグ戦）[29-30] ※[25-30];天候の状況によって、サッカーとバスケットを実施する。 長距離走	サッカー、バスケット・・・集団技能を用いてゲームができる。 長距離走・・・定められた距離を走りきることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	
			公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	

評価割合

	試験	出席	相互評価	平素の学習状況	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	50	30	0	20	0	100
基礎的能力	50	30	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0